

赤外線リモコン受信機

型名 **R-RS232C-IR**

取扱説明書



株式会社ダイセン電子工業
DAISEN

REV201209

— 目 次 —

1. 概要	2
2. 構成と仕様	
2-1. システム構成	2
2-2. 仕様	3
2-3. 外形寸法図	4
3. R-RS232C-IR Tool のインストール	
3-1. インストールメニューの起動	5
3-2. 初期起動	6
4. 出力情報の編集	
4-1. 新規作成	7
4-2. 出力テキストの編集	8
4-3. デリミタコードの設定	9
4-4. リピート出力設定	10
5. 出力情報の登録と動作テスト	
5-1. 出力情報の登録	11
5-2. リモコンの動作テスト	12
6. 登録情報の読み込み	13
7. 通信設定	
7-1. R-RS232C-IR の通信設定	14
7-2. PC 側の通信設定	15
8. ファームウェアの更新	16

付属品

設定ツール (CD)	1 枚
取扱説明書 (本書)	1 部
AC アダプタ (DC12V-1A)	1 台

1. 概要

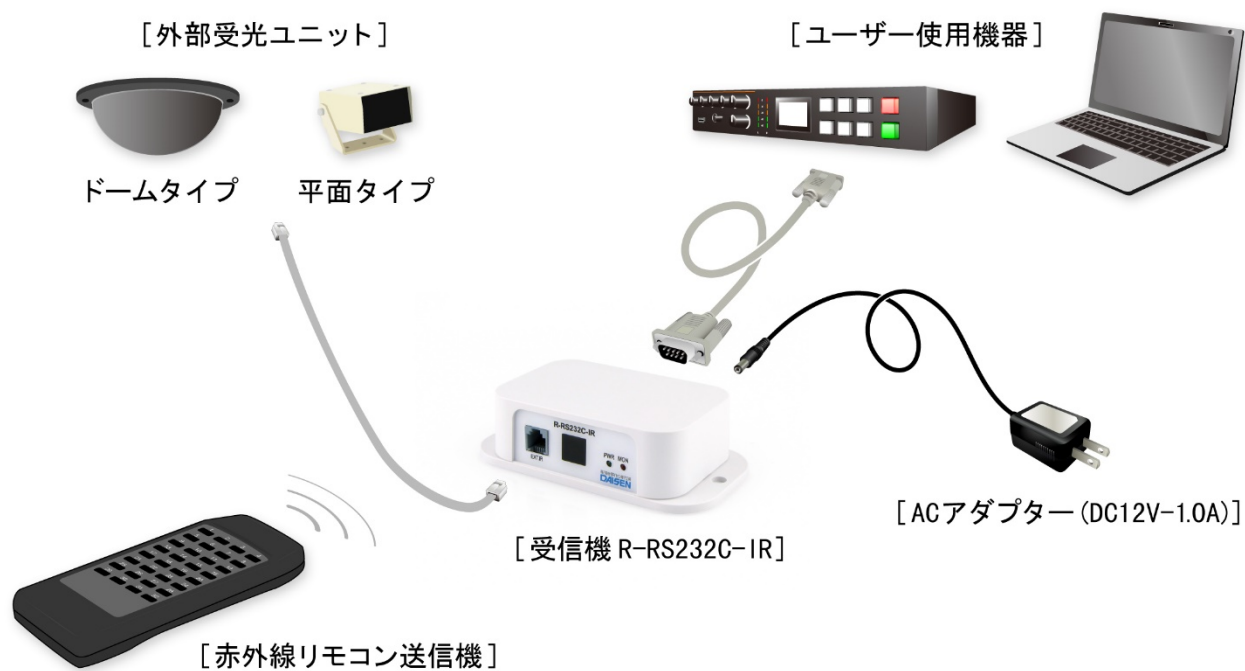
本機 R-RS232C-IR は、リモコン受信機として動作し、弊社製赤外リモコン送信機との組合せで構成されます。R-RS232C-IR は赤外リモコン送信機の押下キーに対応した赤外線コードを受信し、事前に登録されたテキストコードを RS232C の信号として出力されます。

弊社リモコン送信機 T02～T70 まで対応し、1 キー当たり 16 バイトのテキストコードが登録出来ます。

※リモコン送信機はお使いのシステムに合わせて T02～T70 までを選んで別途ご購入下さい。

2. 構成と仕様

2-1. システム構成



2-2. 仕様

■受光部	受信赤外線波長 940nm 受信キャリアー周波数 38kHz
■制御	マイクロコンピュータ制御 (STM32F103CBT7)
■出力	RS232C 信号 (DSUB9 コネクタ)
■モニタ LED	緑色：点灯時は電源表示、点滅時は設定モード時、赤色：赤外受信モニタ
■電源・消費電力	DC12V、1W 以下
■周囲温度・湿度	-10℃～+50℃、25～85%RH（結露なきこと）
■外形・重さ	124.3W×67.3D×35H(mm)、96g

受信機出力コード

受信機は、送信機より送出された赤外信号を受信して、該当するキーに対応して事前に登録されたテキストコードとデリミタコードを RS232C 信号で出力します。

KeyNo. 1 “01” +[CRLF] (30h + 31h + 0Dh + 0Ah)

KeyNo. 2 “02” +[CRLF] (30h + 32h + 0Dh + 0Ah)

|

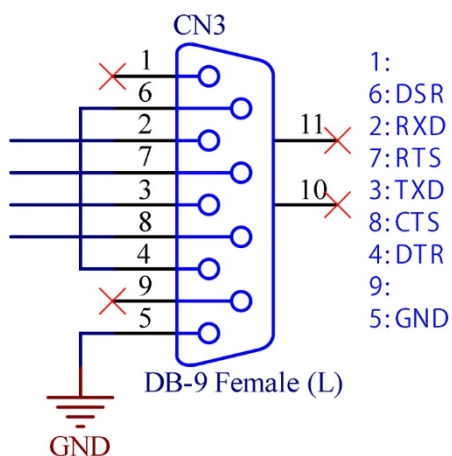
KeyNo. 70 “70” +[CRLF] (37h + 30h + 0Dh + 0Ah)

テキストコードに制御コード 0x01～0x1F, 0x7F～0x7E 等を含めることも出来ます。

デリミタコードの [CRLF] は設定ツールにてキー毎に「CRLF、CR、ETX、無」から選択出来ます。

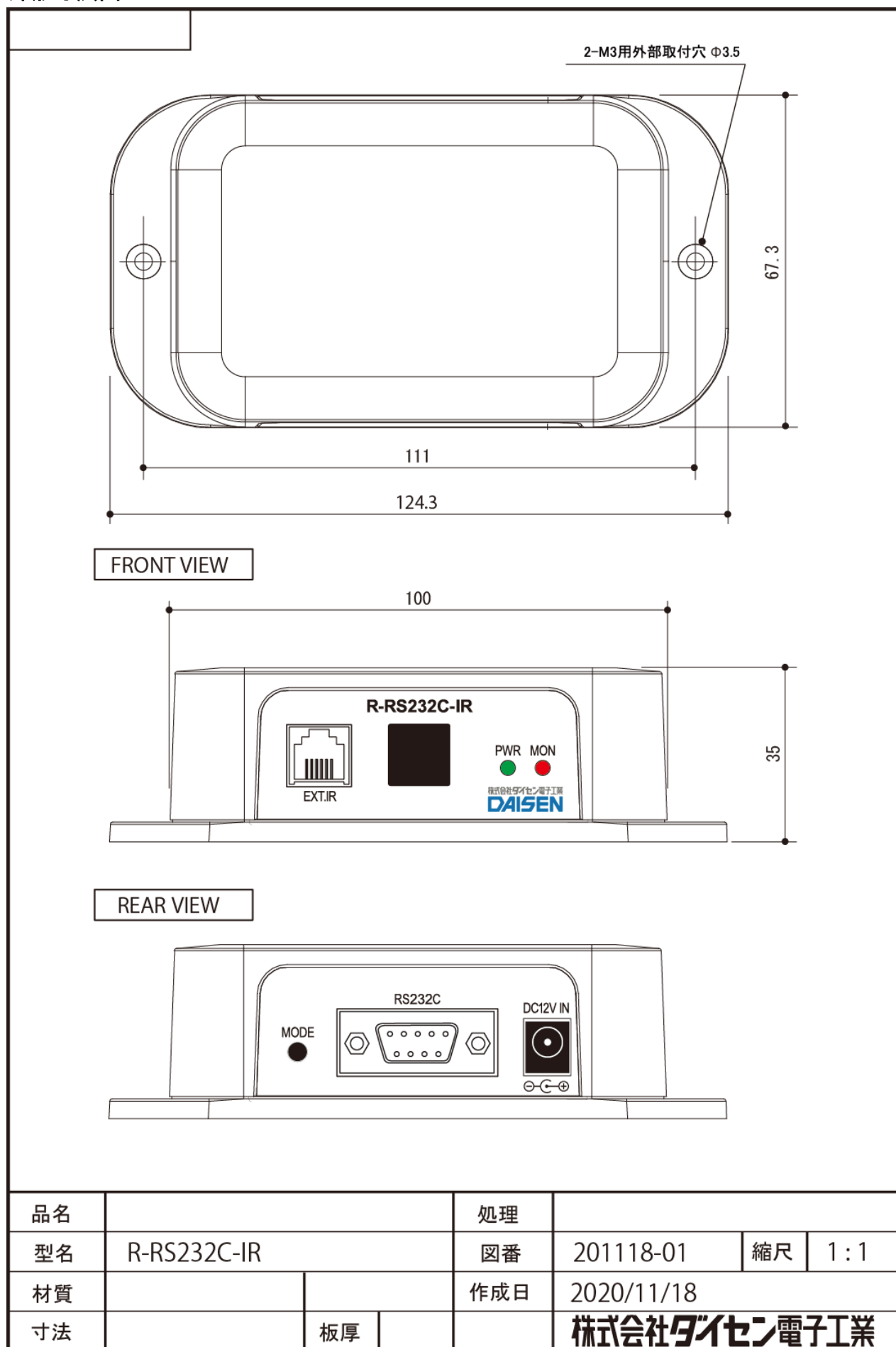
リモコンキーの押下継続に対応したリピート出力設定も行えます。

I/F (RS232C—DSUB9) のピンアサイン



PC との接続は USB シリアル変換ケーブル（ストレート仕様）

2-3. 外形寸法図



3. R-RS232C-IR Tool のインストール

3-1. インストールメニューの起動

付属 CD をパソコンにセットして、“ddkSetupMenu.exe” を実行して下さい。

インストールメニューが表示されます。

弊社販売(別売)の RS232C 通信用 USB シリアル変換ケーブルをご使用の場合は「Driver Install」ボタンをクリックしてドライバのインストールを先に行ってください。

本受信機 R-RS232C-IR 用の設定ツールのインストールは「App. Install」ボタンをクリックします。

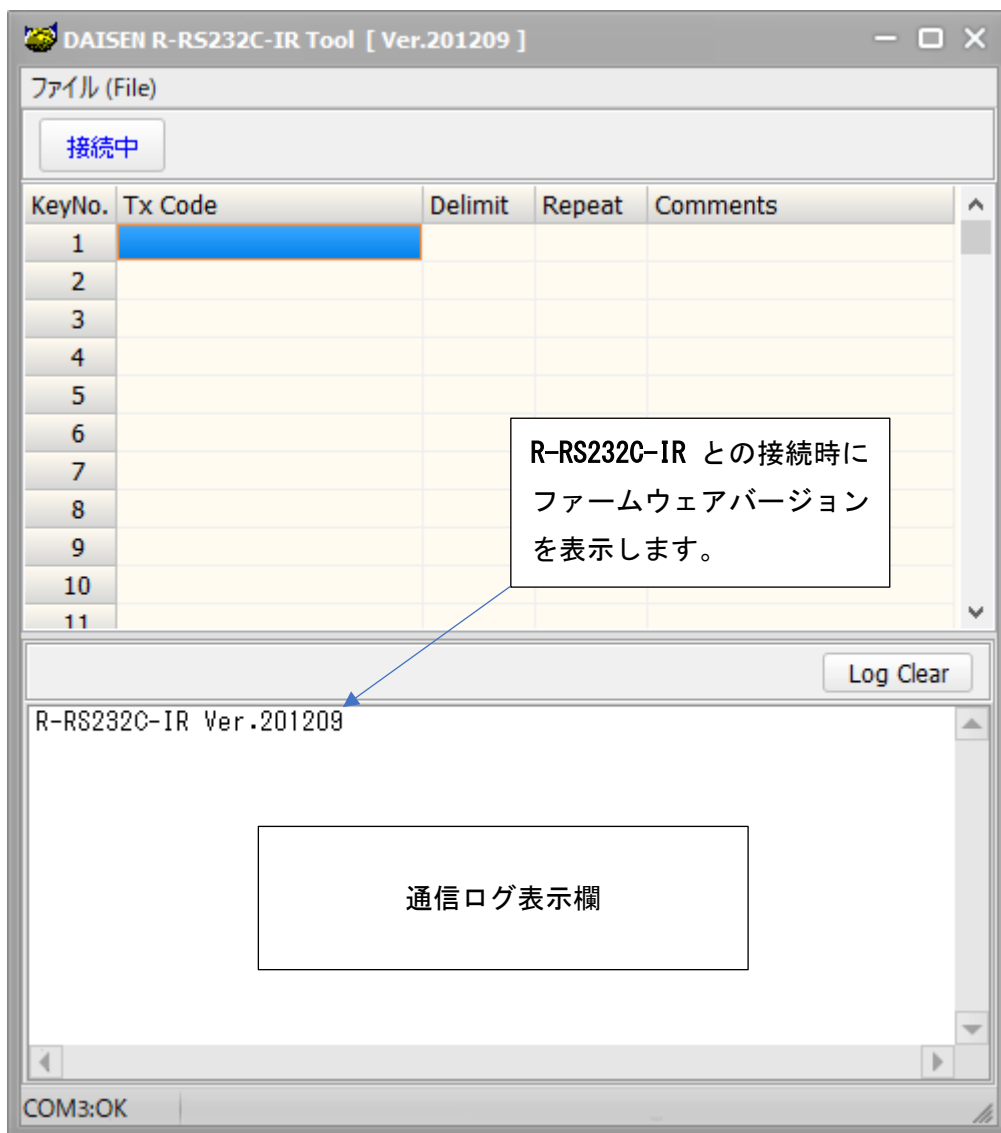


インストールウィザードが起動しますので、画面の指示に従って、順次「次へ」のボタンをクリックしていき「完了」ボタンクリックでインストールは終わり、この画面に戻ります。

PC のデスクトップに“R-RS232C-IR Tool V201209”のショートカット及びスタートメニューの「ddkApplications」の項目の下に「R-RS232C-IR Tool V201209」のショートカットが作成されます。

本書の取扱説明書は、「Documents」ボタンをクリックすると収納されているフォルダを表示します。最後に「閉じる」ボタンでインストールメニューは終了します。

3-2. 初期起動



- ① R-RS232C-IR に電源を供給してシリアル通信ケーブルを PC と接続します。
- ② PC のデスクトップにあるショートカット “R-RS232C-IR Tool V201209” または、スタートメニューの「ddkApplications」から「R-RS232C-IR Tool V201209」を選択して本アプリケーションを起動します。
- ③ PC と R-RS232C-IR とがシリアルケーブルで正常に接続していれば自動で COM ポートを探し出して、「接続中」の表示になります。（接続出来ていない場合は、「接続」の表示となります。）

「KeyNo.」 はリモコン送信機の押下キー番号に対応します。

「Tx Code」 の欄には、R-RS232-IR から出力されるテキストコードです。

「Delimit」 の欄には、テキストコード出力時の終端コードとして付加されるデリミタコードです。

「Repeat」 の欄には、リモコンキーの押下が継続された場合に繰り返し出力するか否かを示します。

「Comments」 の欄には、出力コードのコメントとして活用して下さい。無くても動作には影響ありません。

4. 出力情報の編集

4-1. 新規作成

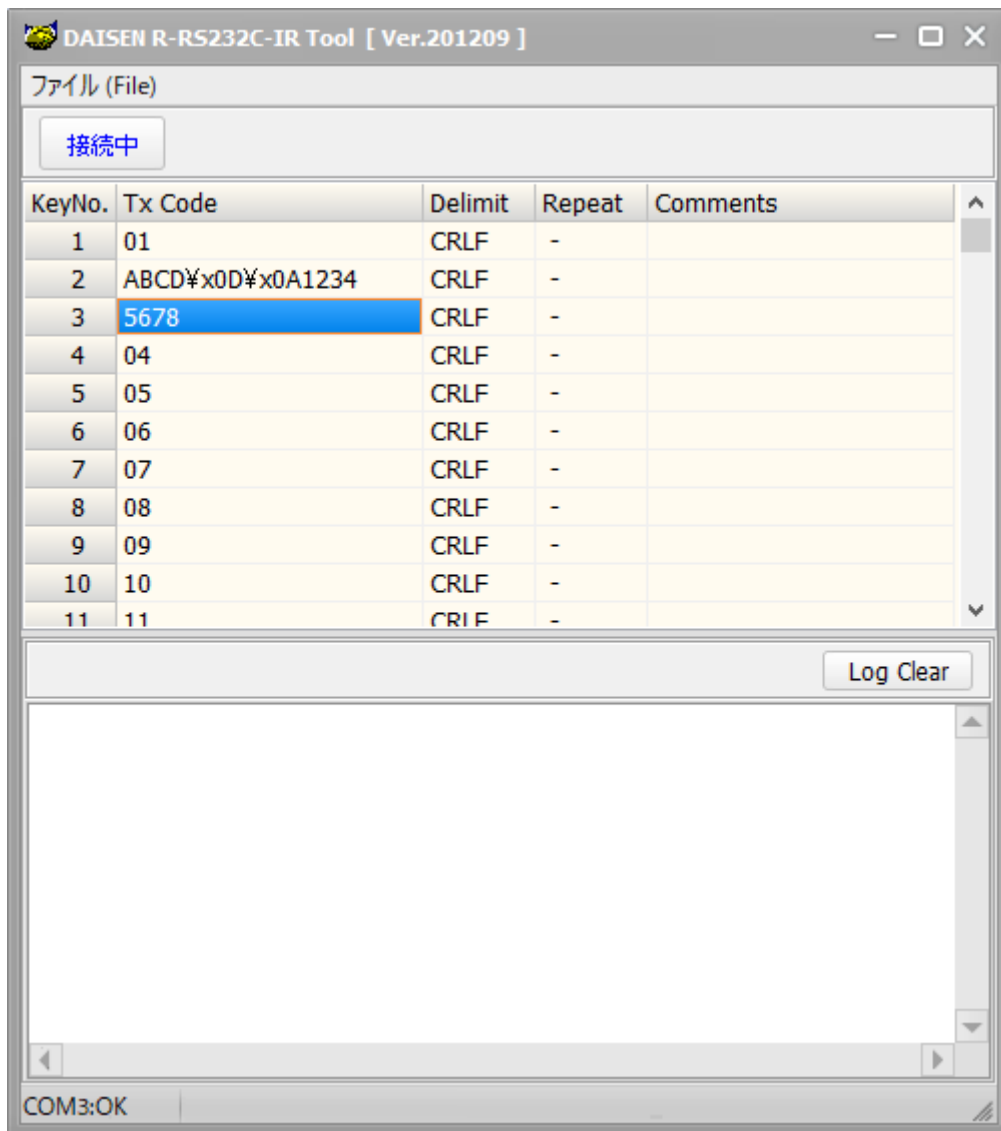
The screenshot shows the DAISEN R-RS232C-IR Tool [Ver.201209] interface. The 'ファイル (File)' menu is open, and the '新規作成 (New)' option is selected. A 'Create New' dialog box is displayed, showing the 'Code is Serial number' checkbox checked and the 'Max of Keys' set to 70. The main interface shows a table with columns: KeyNo., Tx Code, Delimit, Repeat, and Comments. The table is populated with data for KeyNo. 1 to 11, with Tx Code values ranging from 01 to 11. The 'Log Clear' button is visible in the bottom right corner.

システムメニューの新規作成を選択すると新規作成条件のダイアログが表示されます。

“☒ Code is Serial number” にチェックを付けると TxCode 欄に KeyNo. を付加します。

“Max of Kyes” のプルダウンメニューでリモコンのキー数を選択します。目的のキー数がメニューに無い場合は、1～70 までのキー数を直接入力して下さい。

4-2. 出力テキストの編集



「Tx Code」欄にはリモコン押下時に出力されるテキストを入力します。空白を含む**半角 16 文字**までが有効文字列となります。

空白 (0x20) 以下の制御コードを編集する場合は、“0x” または “¥x” に続けて 2 桁の制御コードを入力します。

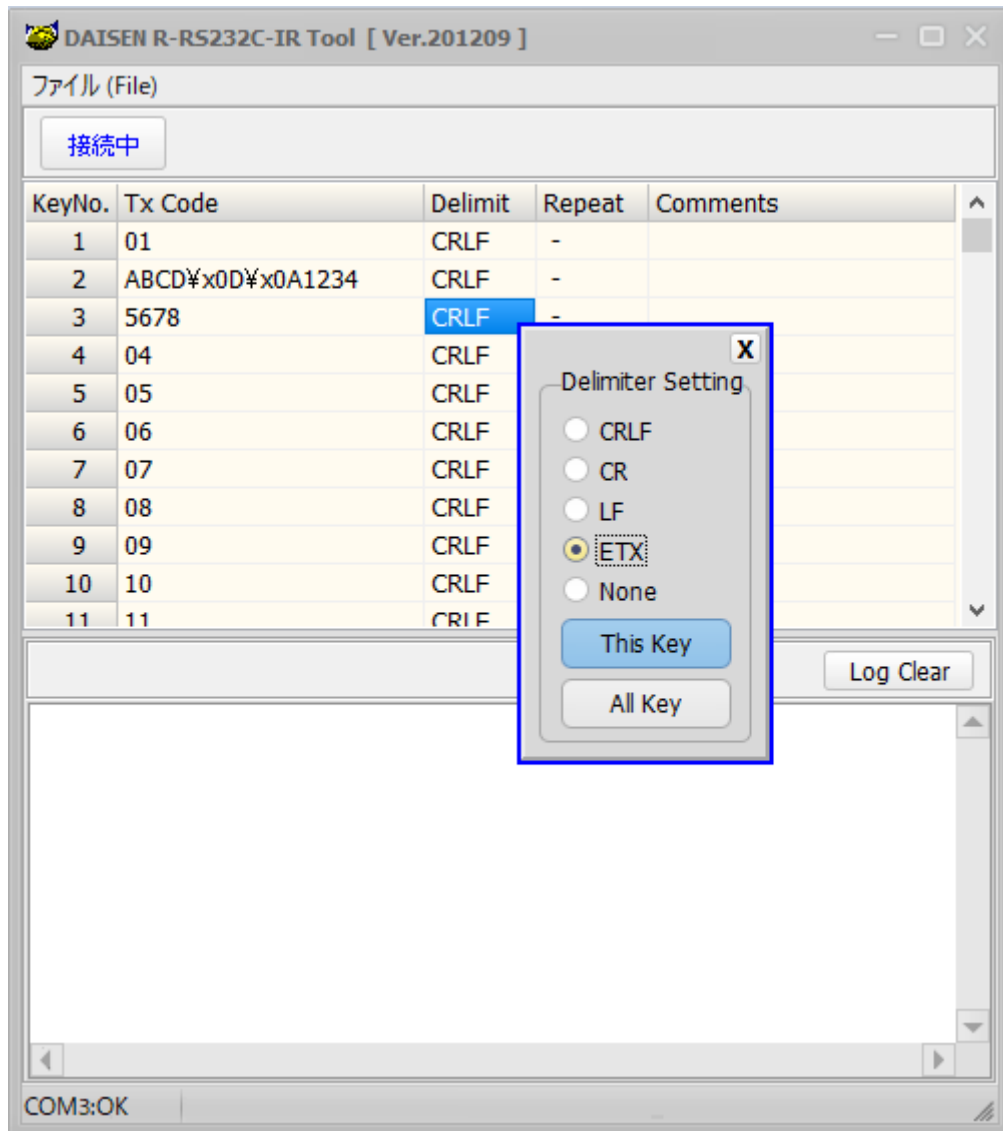
例：“ABCD” + CRLF + “1234” の場合は、“ABCD¥x0D¥x0A1234” と入力して下さい。

“” は説明の為に表記しましたので実際の入力に必要ありません。

「Tx Code」コードを出力したくない場合は Del キーで消去して下さい。

※ご注意 Space キーで文字を消しても空白文字が出力されます。

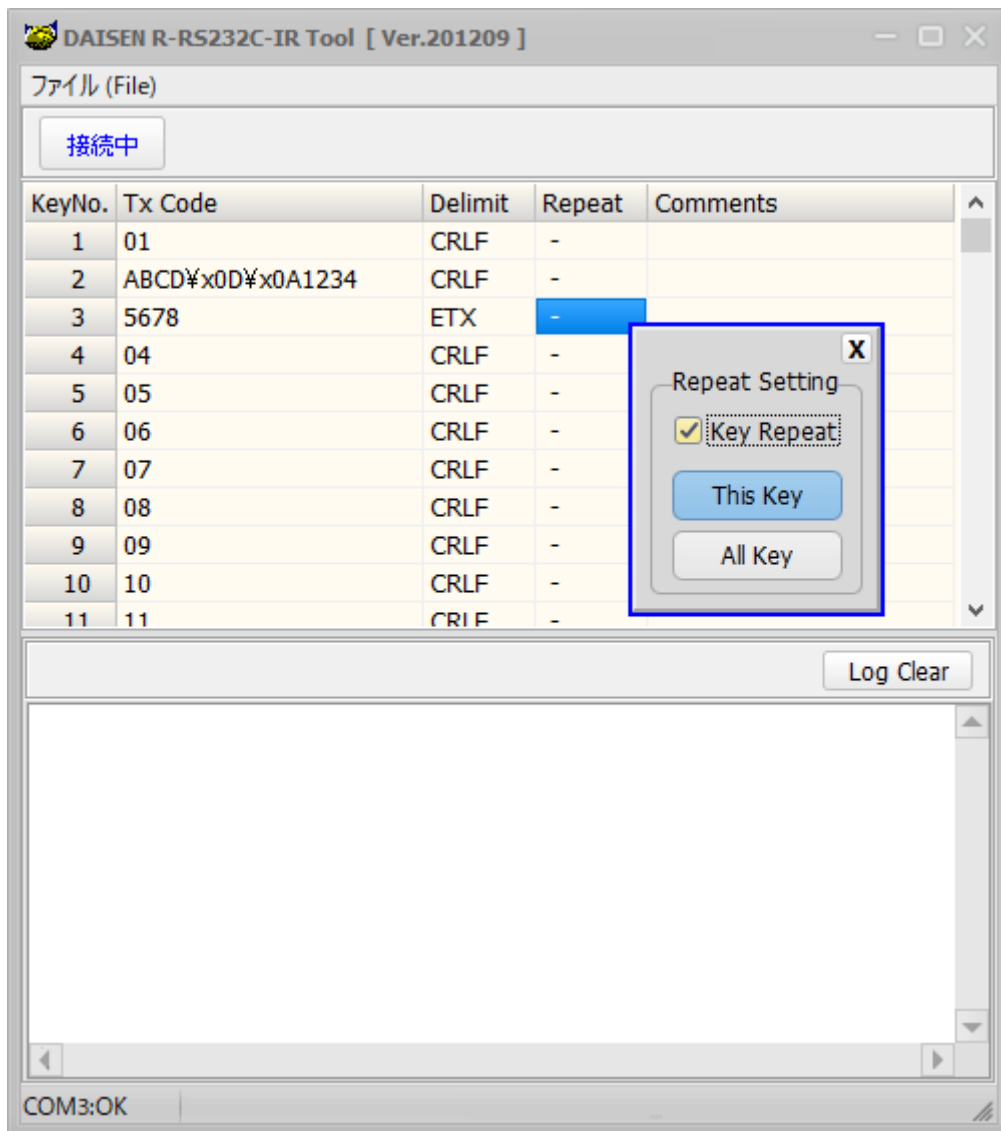
4-3. デリミタコードの設定



- ① 変更したい KeyNo 行の Delimit の項目にカーソルを移動させてマウスの右ボタンをクリックするとデリミタ設定のダイアログが表示されます。
- ② 該当するデリミタのラジオボタンをクリックします。
- ③ 選択行だけ設定する場合は「This Key」のボタンを、選択行以下全てを設定する場合は「All Key」ボタンをクリックします。

※デリミタの ETX を選択した場合は、出力する TxCode の先頭に STX (0x02) が付加されます。

4-4. リピート出力設定



- ① 変更したい KeyNo 行の Repeat 項目にカーソルを移動させてマウスの右ボタンをクリックするとリピート設定のダイアログが表示されます。
- ② リモコンキーの押し続けで繰返し TxCode を出力したい場合は“☒ Key Repeat”にチェック付けます。
- ③ 選択行だけ設定する場合は「This Key」のボタンを、選択行以下全てを設定する場合は「All Key」ボタンをクリックします。

※ご注意

これまでの TxCode 編集、Delimit 設定、Repeat 設定は PC 側の変更作業で、R-RS232C-IR への変更は次頁の登録作業が必要です。

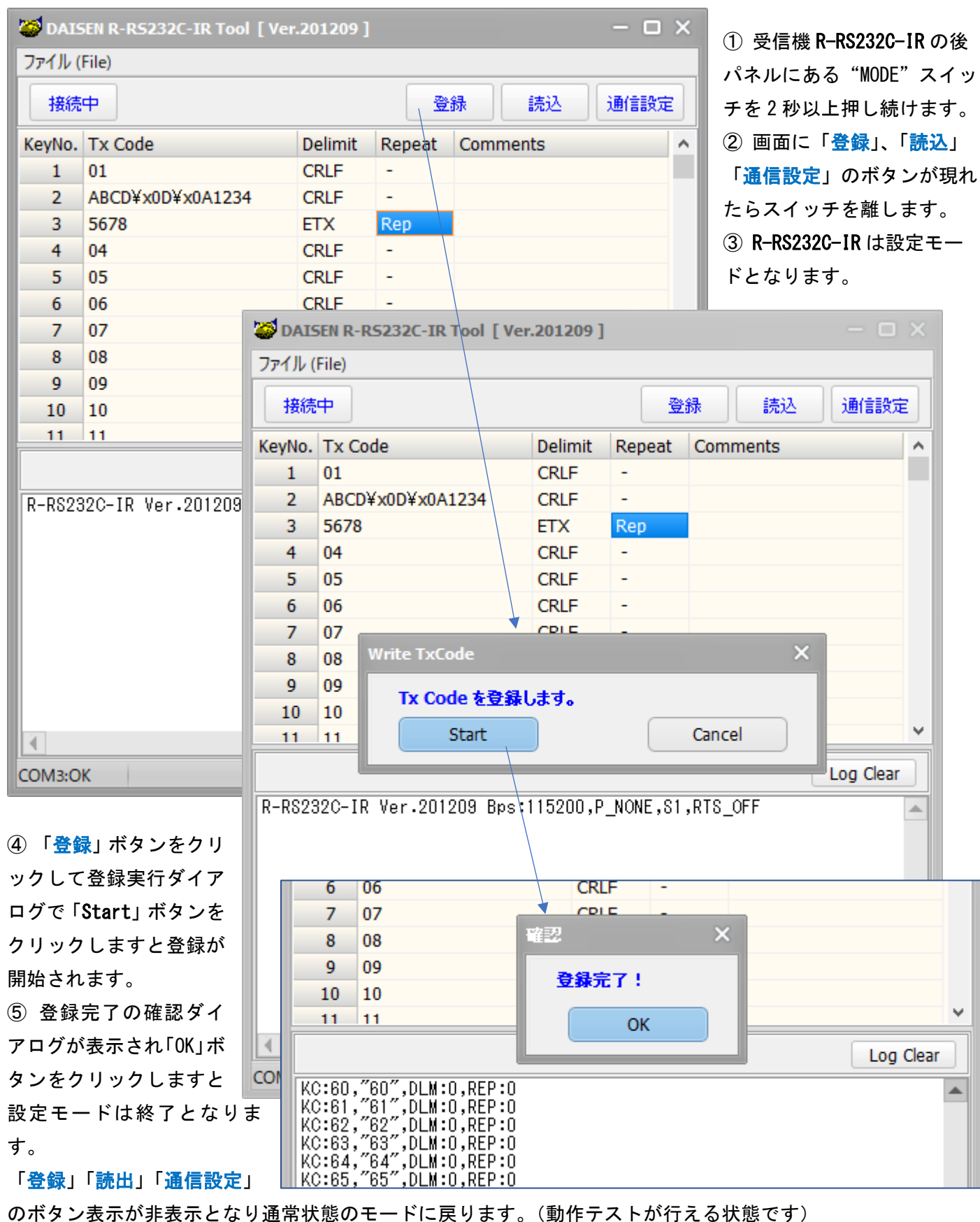
また編集されたデータは保存の有無に関わらずローカルファイルとして自動保存され本ツール起動時に毎回読み込まれ表示されますが、重要な編集データは忘れずに PC へ保存しておいて下さい。

ファイルの保存は、システムメニューの「ファイル」をクリックして「保存」を選択します。

保存されたファイルは同じくシステムメニューの「ファイル」の「開く」で再現できます。

5. 出力情報の登録と動作テスト

5-1. 出力情報の登録



① 受信機 R-RS232C-IR の後パネルにある“MODE”スイッチを2秒以上押し続けます。

② 画面に「登録」、「読み」、「通信設定」のボタンが現れたらスイッチを離します。

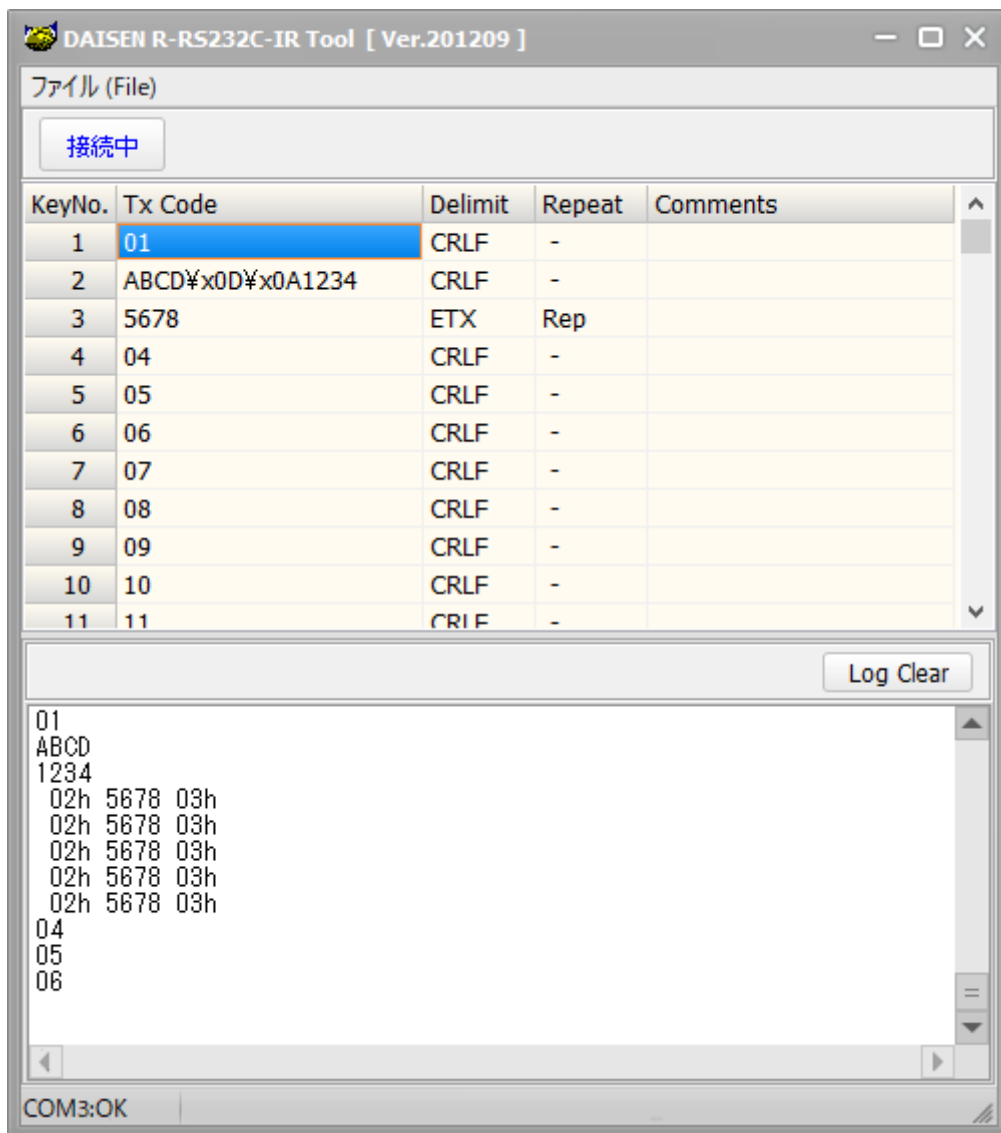
③ R-RS232C-IR は設定モードとなります。

④ 「登録」ボタンをクリックして登録実行ダイアログで「Start」ボタンをクリックしますと登録が開始されます。

⑤ 登録完了の確認ダイアログが表示され「OK」ボタンをクリックしますと設定モードは終了となります。

「登録」「読み」「通信設定」のボタン表示が非表示となり通常状態のモードに戻ります。（動作テストが行える状態です）

5-2. リモコンの動作テスト



本ツール通常状態ではリモコンの受信が出来ます。(接続ボタンが「**接続中**」の表示で「**登録**」「**読出**」「**通信設定**」のボタンが非表示の状態)

画面例ではリモコンキーの KeyNo. 1 から KeyNo. 6 までを順次押した状態が通信ログ欄に表示されています。

KeyNo. 2 は“ABCD”の後、改行され続いて“1234”と出力されています。

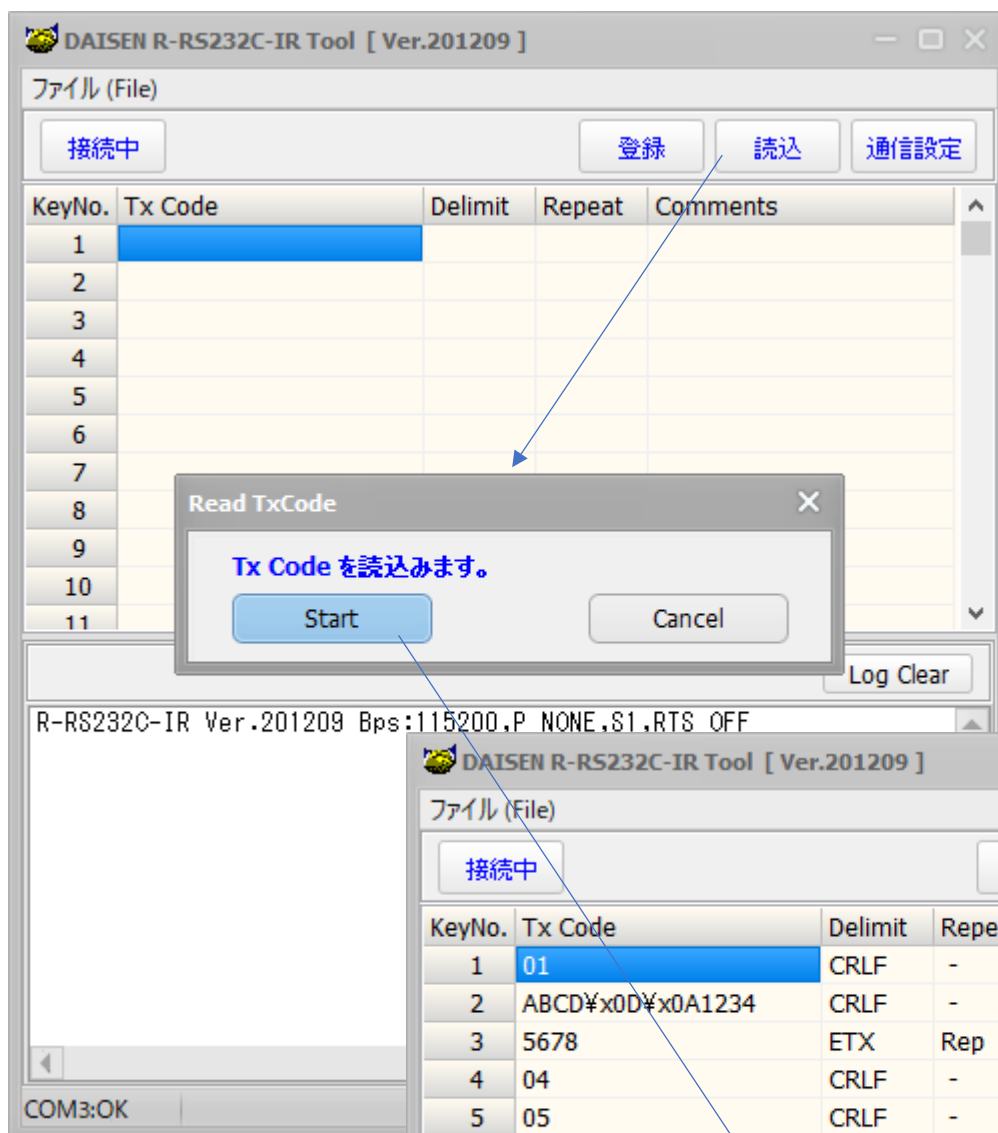
KeyNo. 3 は、デリミタコードが ETX の為、TxCode の“5678”の前後に STX, ETX が付加され Rep 設定の為、連続して表示されます。

本ツールの通信設定で受信デリミタを CRLF の設定になっている(出荷設定)場合は通信ログには CRLF の表示は省かれ改行されて表示します。

また STX (0x02) や ETX (0x03) はテキストに変換され表示します。デリミタが CRLF で無いのに改行されるのは通信設定で受信タイムアウト値を 50mS にしているからです。標準のリモコン送信機は、キーを押し続けた場合無線信号は約 100mS 間隔で送信されていますので受信タイムアウト値をそれ以下に設定していると改行処理が行われます。

※ツール側の通信設定の説明は、「7-2. PC 側の通信設定」を参照して下さい。

6. 登録情報の読み込み

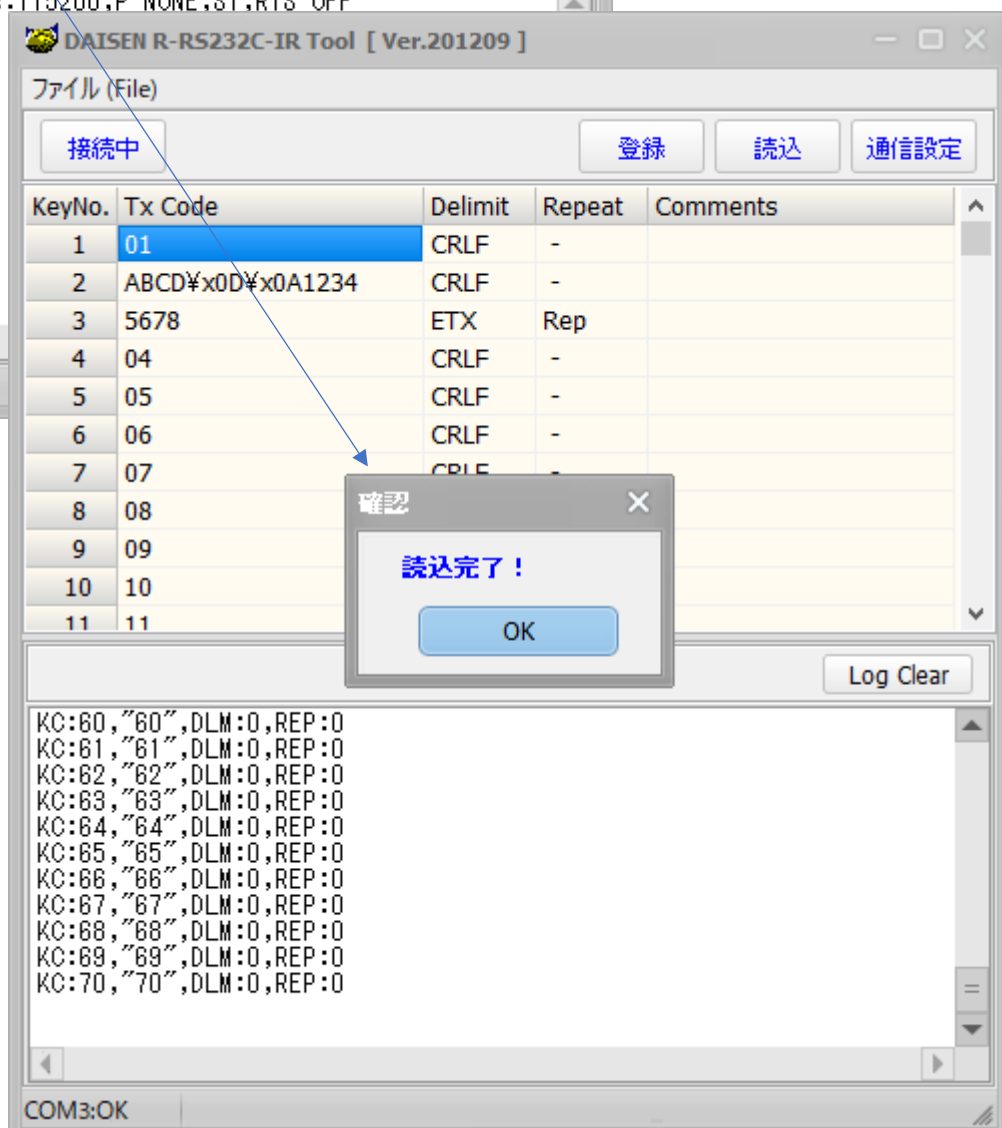


- ① 受信機 R-RS232C-IR の後パネルにある“MODE”スイッチを2秒以上押し続けます。
- ② 画面に「登録」、「読み込」、「通信設定」のボタンが現れたらスイッチを離します。
- ③ R-RS232C-IR は設定モードとなります。

④ 「読み込」ボタンをクリックして読み込み実行のダイアログを表示させます。

⑤ 読み込み実行ダイアログ内の「Start」ボタンをクリックしますと読み込みが開始されます。

⑥ 読み込み完了の「OK」ボタンをクリックしますと、通常状態のモードに戻ります。



7. 通信設定

7-1. R-RS232C-IR の通信設定

① 受信機 R-RS232C-IR の後パネルにある“MODE”スイッチを2秒以上押し続けます。

② 画面に「登録」、「読込」、「通信設定」のボタンが現れたらスイッチを離します。

③ R-RS232C-IR は設定モードとなります。

④ 「通信設定」のボタンをクリックして通信設定ダイアログを表示させます。

⑤ 「Change」ボタンをクリックしますと、R-RS232C-IR の通信設定が変更されます。その後、PC 側の通信設定も自動的に変更されます。

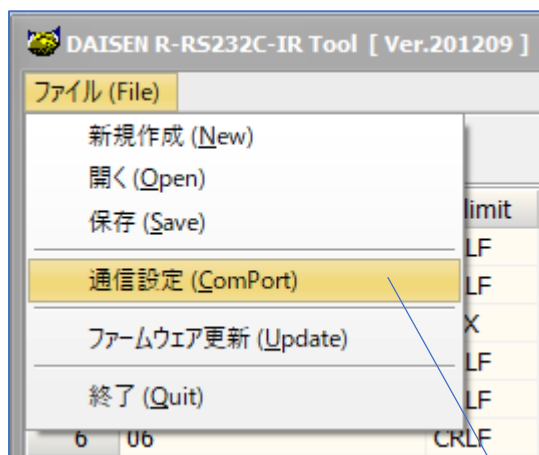
⑥ 通信設定完了後、通常動作のモードに戻ります。

KeyNo.	Tx Code	Delimit	Repeat
1	01	CRLF	-
2	ABCD¥x0D¥x0A1234		
3	5678		
4	04		
5	05		
6	06		
7	07		
8	08		
9	09		
10	10		
11	11		

KeyNo.	Tx Code	Delimit	Repeat	Comments
1	01	CRLF	-	
2	ABCD¥x0D¥x0A1234	CRLF	-	
3	5678	ETX	Rep	
4	04	CRLF	-	
5	05	CRLF	-	
6	06	CRLF	-	
7	07	CRLF	-	
8	08	CRLF	-	
9	09	CRLF	-	
10	10	CRLF	-	
11	11	CRLF	-	

R-RS232C-IR Ver.201209 Bps:115200,P_NONE,S1,RTS_OFF
R-RS232C-IR Ver.201209 Bps:19200,P_NONE,S1,RTS_OFF
R-RS232C-IR Ver.201209

7-2. PC 側の通信設定

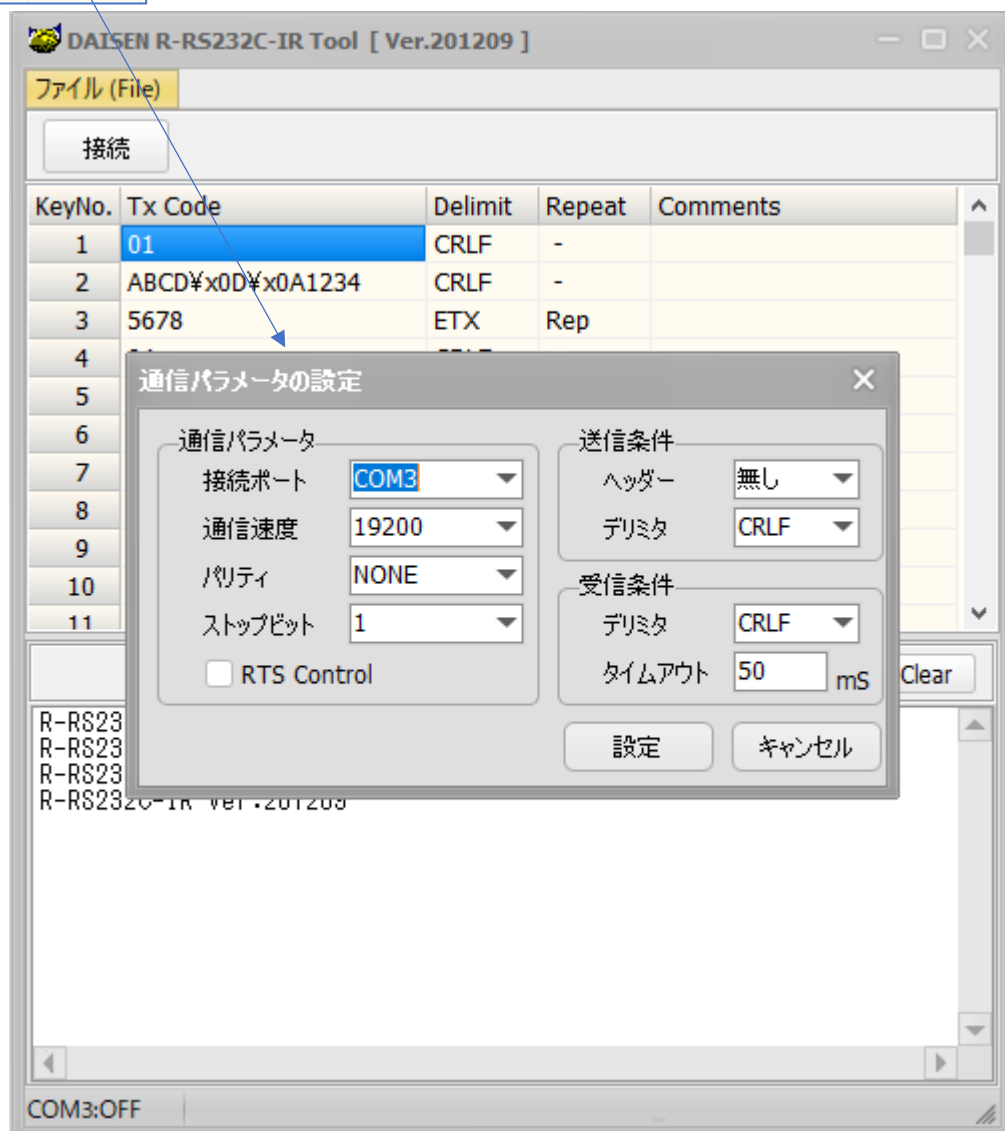


R-RS232C-IR の通信設定が正常に終了すると PC 側の通信設定も自動的に変更されます。

画面の例は、正常に通信設定が変更されたかの確認画面です。

通信速度 (BandRate) が 19200bps に変更されていることが確認できます

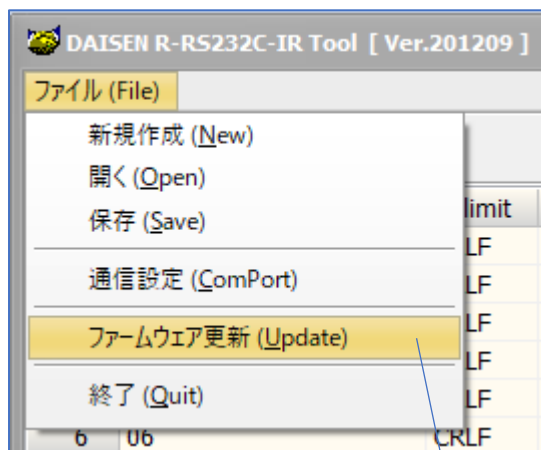
この場合は「キャンセル」ボタンでダイアログを閉じます。



もし PC 側が自動で変更されなかった場合はシステムメニューの通信設定で該当する通信パラメータを変更して「設定」ボタンをクリックします。

送信条件と受信条件は受信機に合わせて変更する必要はありません。

8. ファームウェアの更新



出荷時のファームウェアバージョンは

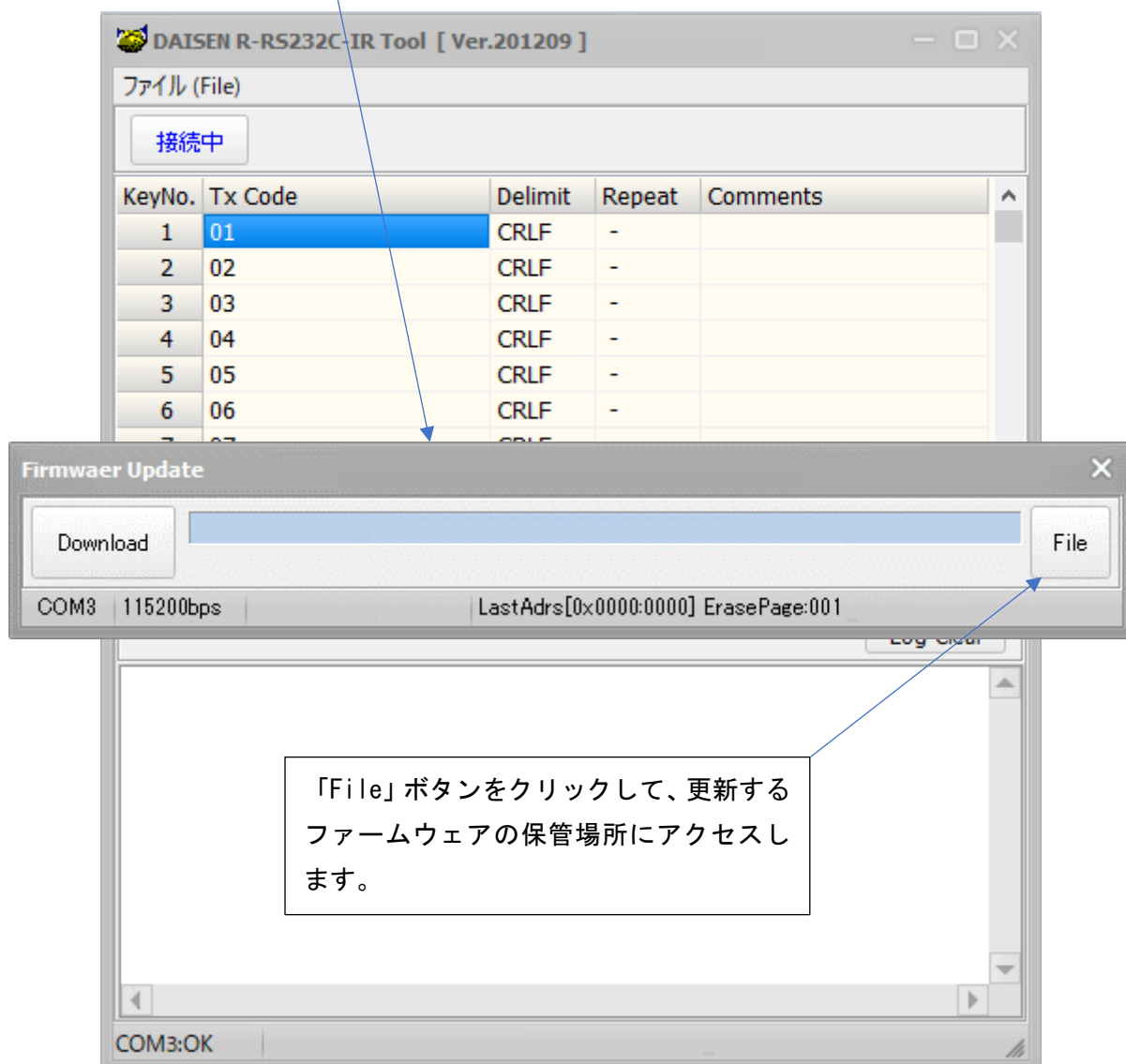
“R-RS232C-IR Ver. 201209” です。

今後の機能の向上や不具合の改善等でファームウェアを更新する
必要が発生した場合、弊社 Web ダウンロードページから最新版のフ
ァームウェアを入手して更新することが出来ます。

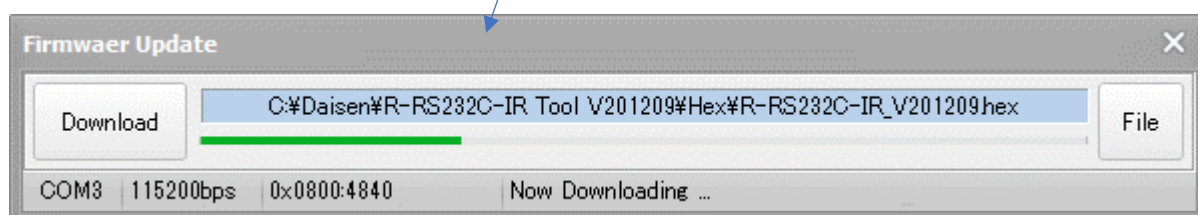
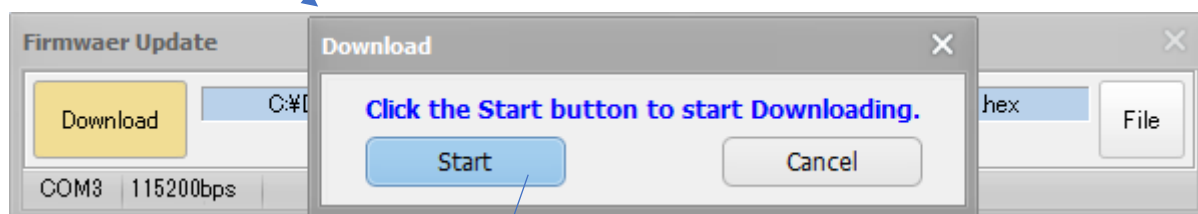
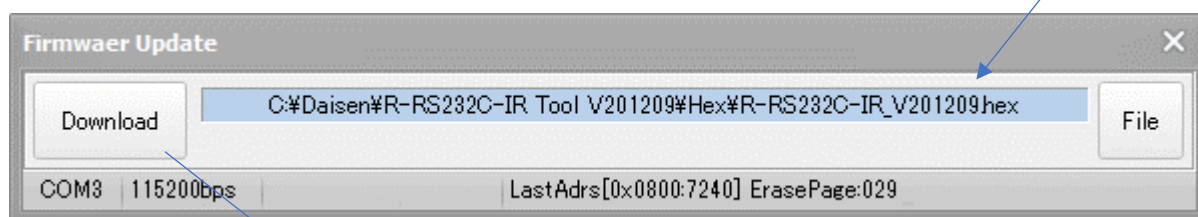
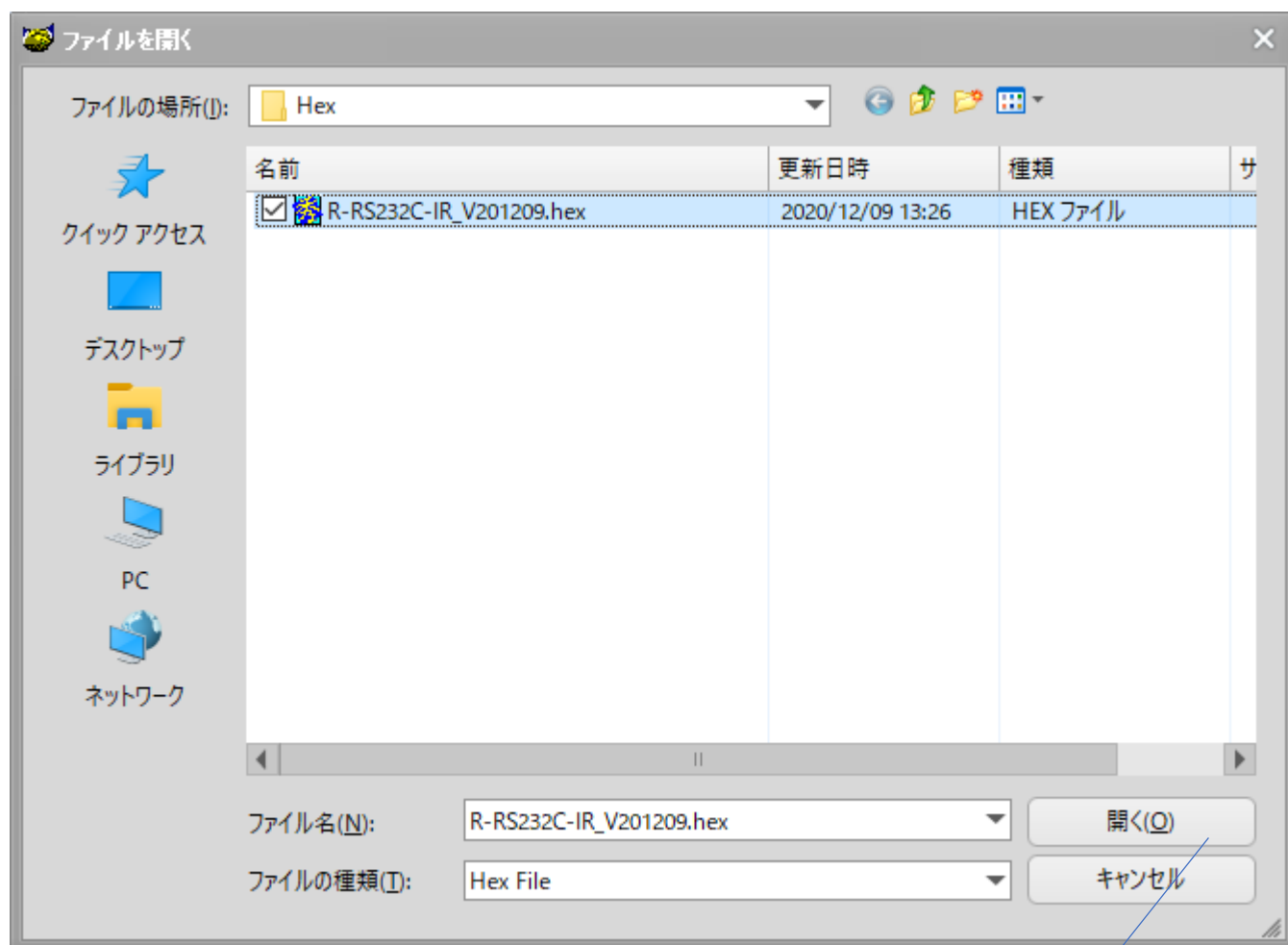
※ご注意

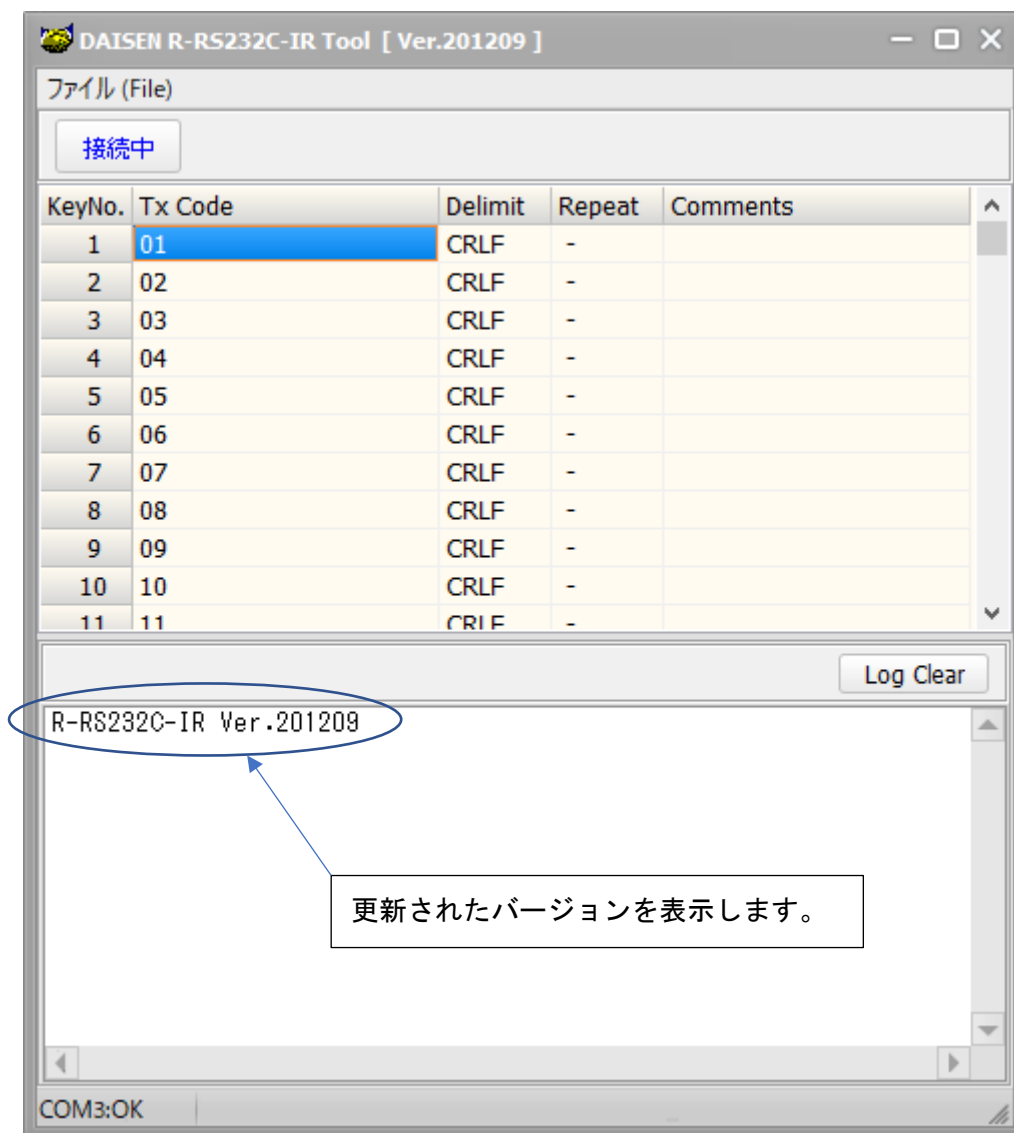
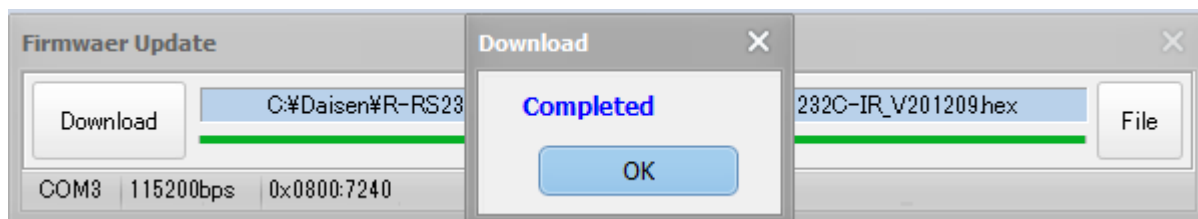
ファームウェア更新のメニューを選択した時点で通信設定が初期
値の “115200bps, P_NONE, S1, RTS_OFF” に戻されます。

更新後は運用時の通信設定に戻す必要があります。



本ツール：R-RS232C-IR Tool Ver. 201209 をインストールした実行ファイルの配下にあるフォルダ “Hex”内に出荷時に書き込まれたファームウェアと同じファイルが収納されています。





※ファームウェア更新後または中止した場合は出荷時設定 “115200bps, P_NONE, S1, RTS_OFF” に戻りますので、運用時の通信設定に戻す作業を忘れずに行ってください。

▲ 注意

本製品は一般の民生・産業用として使用されることを前提に設計されています。人命や危害に直接的、間接的にかかわるシステムや医療機器など、高い安全性が必要とされる用途にはお使いにならないでください。

本製品の故障・誤動作・不具合によりシステムに発生した付随的障害および、本製品を用いたことによって生じた損害に対し、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

株式会社ダイセン電子工業
DAISEN

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-9-24
TEL: 06-6631-5553 / FAX: 06-6631-6886
URL: <http://www.daisendenshi.com>
e-mail: ddk@daisendenshi.com